

## 汚水処理の広域化・共同化計画（案）に対する御意見の概要及び県の考え方

該当項目	番号	御意見の概要	県の考え方
全体	1	人口減少はまったなしの状況であるため、広域化・共同化による更なる下水道の効率化・最適化は率先して進めるべき。	本計画の取組を市町村等と連携して着実に実行し、計画的に進めてまいります。
	2	広域化の取組みは下水道を持続していく上で重要な取組ということが理解できたので、計画の推進と早期実現を強く望む。	本計画の取組を市町村等と連携し、早期に実現できるよう努めてまいります。
	3	行政界をまたいだハード連携は、広い視野でみてメリットがあると判断された場合は早期に実施してほしい。 今後、料金や安全面で市民に大きな影響が出ないよう、積極的に広域化・共同化に取り組んで、適切な経営、施設管理をしてほしい。	本計画の取組を市町村等と連携し、早期に実現できるよう計画的に取り組み、適切な経営・施設管理に努めてまいります。
	4	維持管理費の増大、人員減少が予想される中で、広域化・共同化の取組は有効な手段なので、計画通りにしっかりと進んでいくことを期待する。	本計画の取組を市町村等と連携し、計画的に進めてまいります。
	5	今後も我々が安心して下水道が使い続けられるよう積極的な取り組みを期待している。	本計画の取組を市町村等と連携し、計画的に進めてまいります。
	6	下水道の広域化・共同化は、今後老朽化が進施設を維持管理していくために、必要なことは分かったが、下水道料金も近いうちに値上げされることが予想されるため、料金が上がることにに対して利用者が納得できるように、取り組んだ成果の報告等を継続的に公開してほしい。	本計画の進捗管理を適切に行い、その結果について、積極的に公表してまいります。
	7	規模が大きい市は、市単独である程度対応可能と思われるが、小規模な市では人材面及び財政面共に余裕がなく持続可能な汚水処理は特に厳しくなる。県が戦略的にこの計画をまとめて県民が安心して下水道を使用し続けられることを期待する。 可能なら、小規模の市町には維持管理費補助金の割増や汚水処理費用の軽減を望む。	本計画の取組を市町村等と連携し、計画的に進めることにより、持続可能な汚水処理の確保に努めてまいります。 なお、使用料が原資となる維持管理費用については、その事業主体である市町村等の負担となっており、補助金制度はありませんが、県では、この広域化・共同化計画の取組が、市町村等の汚水処理費用の軽減につながるよう、支援してまいります。
	8	災害やトラブルで下水が流せなくなったニュースを目にすることがあるので、効率化の取り組みは進めていくべきと思うが、残る施設が問題なく機能するような対策も望む。	老朽化対策や地震対策など、汚水処理の機能を確保した上で、適切に効率化に向けた取組を進めてまいります。

該当項目	番号	御意見の概要	県の考え方
全体	9	<p>汚水処理のための施設を大きくまとめることで、もっと民間企業などに管理をまかせることができるようになるのではないかと。人が足りない役所がやるだけでなく、いろんなことを民間に運営できるようにするための広域化共同化を進めてはどうか。</p>	<p>運営の民営化を広域化・共同化の目的とはしていませんが、本計画では、汚泥処理の共同化の取組において、PPP/PFI手法導入の可能性を検討し、積極的に活用することとしております。</p>
	10	<p>水をきれいにして環境に戻す処理施設をまとめすぎると、近くの水路や小川に水がなくなり、生態系に悪影響が出るのではないかと。</p>	<p>施設の統廃合により、放流先の河川等に影響を及ぼす可能性がある場合には、各事業主体（県、市町村等）が、各事業を実施するための個別の計画において、必要に応じて検討しながら取組を進めていきます。</p>
	11	<p>地震対策はお金がかかると思うが、今ある施設に巨額の費用をかけて完全に耐震化するよりも、一部が壊れても施設全体でカバーできるような広域共同化は意味があると思う。そういう広域化もやってほしい。</p>	<p>下水道をはじめとする汚水処理施設は、私たちの生活にとって必要不可欠なライフラインであるため、施設を耐震化することは必要と考えています。 ハード対策を進めるとともに、ソフト面の地震対策も必要であると考えています。 広域化・共同化計画では、地震などの災害時に汚泥処理施設やし尿処理施設が被災した場合を想定し、「災害時の一般廃棄物及び下水処理にかかる相互応援」を取組メニューに位置付けています。</p>
	12	<p>汚水処理が広域化されたら、電力のように汚水処理に色々な民間企業が参入できるようにようにならないか。各家庭は好きな会社と契約し、その会社は契約した分の汚水処理をどこかでやればよいと思う。</p>	<p>下水道事業では、一部でコンセッション方式を導入している自治体がありますが、いただいた意見については、現行の制度にはないため、現時点では検討する段階にはないと考えています。</p>
	13	<p>この計画を進めることでどのような影響があるのか。</p>	<p>広域化・共同化により得られる具体的な効果を、「6.3まとめ」に追加しました。</p>
	14	<p>計画の背景として「汚水処理施設の事業運営は、人口減少に伴う使用料収入の減少、職員数の減少による執行体制の脆弱化、施設の老朽化に伴う大量改築更新期の到来等により、その経営環境は厳しさを増しており、効率的な事業運営が一層求められているところである。」と記載されているところ、計画の内容において財政面の効果は「汚水処理単価の低減を図る」など抽象的な記載ばかりであり、具体的な効果が提示されていない。</p>	<p>広域化・共同化により得られる具体的な効果を、「6.3まとめ」に追加しました。</p>

該当項目	番号	御意見の概要	県の考え方
全体	15	第6章の取組効果において、財政効果をあげるのであれば、取組によって増加するコストと削減されるコストを考慮して明確に効果が知りたい。 また、取組のデメリットに関しても触れられていない。	PDCAサイクルによるマネジメントを行うことにより、検証を進めてまいります。
	16	共同化すれば経済的で効率が良く、環境負荷も低減出来ると思うが、集中することによる施設の故障や災害時による停止等、リスクも増えると思う。経済性とのバランスを考え、適度な分散によるリスク回避も必要かと思う。	広域化・共同化を進めるにあたり、経済性と設備停止等のリスクのバランスを考慮した上で、集約化した施設のリスク回避にも努めてまいります。
	17	広域化・共同化を進めるにあたっては、共同化する処理場周辺の住民等に不信感を与えないような管理・運営への配慮が必要である。	住民の皆様にご信頼いただけるよう、適切な管理・運営に努めてまいります。
	18	第6章において取組効果として「カーボンニュートラルへの貢献」が上げられているものがあるが、「カーボンニュートラルへの貢献」は本計画の背景や目的に関してどのような意義があるものなのか分からない。	本県では、地球温暖化対策の取組が進められており、多くの電力を消費する污水处理にも温室効果ガス排出量の削減が求められています。 本計画では、施設の統廃合等により効率化が図られることで、使用電力量を削減することができ、カーボンニュートラルへ貢献することができます。
	19	この計画にはカーボンニュートラルに関する取組はあるのか。	本県では、地球温暖化対策の取組が進められており、多くの電力を消費する污水处理にも温室効果ガス排出量の削減が求められています。 本計画では、施設の統廃合等により効率化が図られることで、使用電力量を削減することができ、カーボンニュートラルへ貢献することができます。
	20	カーボンニュートラル達成のための施策を記載してもいいのではないか。	本県では、地球温暖化対策の取組が進められており、多くの電力を消費する污水处理にも温室効果ガス排出量の削減が求められています。 本計画では、施設の統廃合等により効率化が図られることで、使用電力量を削減することができ、カーボンニュートラルへ貢献することができます。

該当項目	番号	御意見の概要	県の考え方
第6章 6.1取組内容 6.1.1施設の統廃合	21	<p>名古屋市市の 堀留、熱田、伝馬町を山崎水処理センターへの統合を進める件に反対。</p> <p>何故なら、堀留水処理センターは新堀川唯一の水源であり、これが停止した場合には、流域の悪臭や生活環境が悪化するの必至であり、代替策が現在は無いから。統廃合により、新堀川流域で将来、環境的な問題が起こる可能性というのは、予測できる事態だと思う。</p> <p>流域の分流化という話もあるが、分流化だけでは新堀川流域の生活環境の向上は難しい。</p> <p>堀留水処理センターを露橋水処理センターのように高度処理化に改修し高度処理化された水を栄地区の街づくりに活かし、新堀川の浄化に貢献できるようにすることが、周辺の生活環境向上に貢献できる。</p> <p>また堀留水処理センターの上部空間は、廃止後に高度利用という検討もされているが、名古屋都心で数少ない緑が広がる空間、庭園となっており、市民にとって貴重な空間である。これらの件については、今一度、名古屋市や名古屋市民と共に、見直しの検討を考えて頂きたい。</p>	<p>名古屋市では、堀留、熱田、伝馬町の山崎水処理センターへの統合に向けて、放流先の河川など周辺環境への影響に留意して、検討を進めていくこととしています。</p> <p>堀留水処理センターについては、都心部の魅力向上やまちづくりの観点を踏まえた上部空間等の利用の検討が進められています。</p> <p>県としても、いただいた御意見を名古屋市と共有し、協力を努めてまいります。</p>
第6章 6.1取組内容 6.1.7災害訓練等の共同化	22	<p>災害時の相互応援について、地震などの災害が起きた時は、職員数からしても、ある程度大きな規模の団体が小さな規模の団体を支援することになるように思われる。相互応援の体制を整えておくことは重要だと思うが、災害の時に支援する側の復旧が遅れることに不安を感じる。</p>	<p>「一般廃棄物処理及び下水道処理に係る相互応援」や「資機材の相互融通」などの取組により、災害時対応の強化を図り、被災自治体等への支援の迅速化に努めてまいります。</p>
第6章 6.1取組内容 6.1.8人材育成の共同化	23	<p>執行体制の脆弱化の進行など、ヒトへの具体的な取組が不足していると感じるので、民間活力の活用など、執行体制の強化に係わる具体的な取組が増えることを期待する。</p>	<p>「下水道事務等の共同化」等の取組により民間活力の活用なども進め、業務の効率化や事務等の省力化に努めてまいります。</p>
第6章 6.1取組内容 6.1.8人材育成の共同化	24	<p>予算規模や人員が少ない小規模団体では、人材確保や人材育成には限りがあると思うので、愛知県主体での人材確保や人材育成のため、人材面での広域化・共同化の推進が必要と考える。</p>	<p>本計画では、「下水道事務等の共同化」「人材育成の共同化」等の取組を計画に位置付けています。人材確保や人材育成の課題に対し、市町村等と連携し、計画的に進めてまいります。</p>

該当項目	番号	御意見の概要	県の考え方
その他	25	ライフラインの料金値上げが相次いでいるため、採算状況の見える化、必要な投資については丁寧な説明をしていく必要がある。	本県では、下水道事業等を実施する全市町村において、公営企業会計への移行を進めております。また、投資財政計画等を検討した上で経営戦略を策定し、公表することにより、経営状況の見える化を図っています。
	26	統廃合のメリットを活かすために、下水処理場において窒素やリンを除去する、愛知県内高度処理化100%を目指して欲しい。アサリの漁業などで、窒素やリンの緩和実験もあると聞くが、まずは浄化が先である。	本県では、伊勢湾・三河湾の水質保全等に必要な高度処理の導入を進めてまいりました。今後も水質保全と豊かな海の両立に配慮しつつ、高度処理の推進に取り組んでまいります。
	27	さらに統廃合を進めるうえで、合流式下水道の問題、雨により汚水が簡易処理や未処理の水が河川などに流入する問題改善もセットで、より進めて欲しい。	本県では、これまでも合流式下水道の改善に取り組んでまいりました。いただいた御意見は合流式下水道を採用している市と共有し、合流式下水道の改善の取組を進めてまいります。
	28	本計画は「汚水処理の広域化・共同化計画」とされているが、本文中では汚水処理事業という文言が多用されている。「汚水処理事業の広域化・共同化計画」ではないのか。	本文中に「汚水処理事業」と「汚水処理」が混在する箇所を、整理し、修正しました。
	29	「第2章 県内汚水処理事業の概要」の冒頭で「本県では、下水道、農業・漁業集落排水施設、コミュニティ・プラント及び合併処理浄化槽の汚水処理事業が行われている。」とあるところ、同章（5）にはし尿処理施設が掲載されており、汚水処理事業に含まれていないにもかかわらず掲載されている理由は明示されていない。計画書上のし尿処理施設の位置づけを明確にすべきである。	し尿処理施設は、汚水処理施設の類似的な施設として、本計画において「その他類似施設」として整理しました。
	30	本計画に参画している市町村一覧と市町村ごとの規模感(面積や人口等)を記載したほうがよいのではないか。	本計画は、県内全市町村を対象とした計画です。各市町村の面積や人口については、以下のWebページで確認することができます。 愛知県統計年鑑： <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/0000079643.html">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/0000079643.html</a>
	31	計画内の言葉がわかりづらいため、用語集・資料集のようなものを巻末に添付してほしい。	用語集をWebページに掲載しました。
	32	広域化・共同化計画の取組効果について、建設費・維持管理費の抑制のほか、放流水質レベルの向上、カーボンニュートラルへの貢献など様々な取組効果について本編には記載されているが、概要版には、これらの様々な取組効果の記載がありません。概要版にも、様々な取組効果を記載できないか。	いただいた御意見の反映に努めてまいります。